

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	法学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部)

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 初年次に専門教育の導入となる科目を効果的に配置する。	→「1年次配当専門科目の開講数と受講者数・履修登録率・単位取得率」	B
2. 2年次以降に学修ニーズや進路の希望に応じたコース制を設け、専門科目を体系的に配置する。	→「コースについての学生満足度調査」	B
3. 演習のメニュー・開講数を増やし、各年次に開講して履修できるようにする。	→「ゼミ形式の少人数教育科目の開講数(専門分野別・配当年次別)と履修登録率・単位取得率」	B
4. 英語・仏語中期留学、国連ボランティア科目、外国語インテンシブ・プログラムの受講を促す。	→「英語・フランス語中期留学、国連ボランティア科目、外国語インテンシブ・プログラム受講者数・履修登録率・単位取得率(学科別・学年別・男女別・コース別)」	B
5. ライフデザイン科目の受講を促進するとともに、コース制に沿った職業支援的な科目を設ける。	→「インターンシップ関連科目の受講者数・履修登録率・単位取得率(学科別・学年別・男女別・コース別)、職業支援的科目の開講数・受講者数・履修登録率・単位取得率」	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

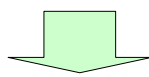
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(方針) 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成する。 (現状説明) 授業科目の適切な開設、教育課程の体系的な編成については、カリキュラム改革に関する検討の成果を踏まえ目標に到達しつつある。
☆ 小項目6.2.2	(方針) 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供する。 (現状説明) 教育課程の編成・実施方針に基づく各課程に相応しい教育内容の提供については、カリキュラム改革に関する検討の成果を踏まえ目標に到達しつつある。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



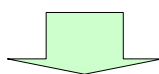
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価推進委員会からの評価＞（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

【学外委員】

○「現状説明」の(方針)で、「教育課程の編成・実施方針に基づき」とありますが、「学位授与方針」が未定であると、教育課程の編成等も方針が定まらないのではないかと懸念されます。「教育課程の編成・実施方針」について、十分な説明が求められます。

【学内委員】

○教育目標、学位授与の方針、教育課程の編成と実施方針、教育内容の順に定められるものです。順序通りではなくても、少なくとも同時並行で検討されていると推測されます。2009年度に設定された目標についても、これらの検討の結果を踏まえて検討を加えられることが期待されます。

○各種の指標の動きを踏まえて、どのように効果が上がっているかが記述されることが望ましいと思われま。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★小項目6.2.1、および6.2.2の(方針)について、学位授与方針の策定作業と並行して、教育課程の編成・実施方針の策定を進めている。これに照らして、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成する。

Ⅴ. 本項目の評価指標

＜全学的な指標＞

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

＜個別的な指標＞
